

自殺対策の取組状況について（令和 3 年度事業実績等）

精神保健課・こころの健康センター

A：「地域自殺対策推進センター」としての役割

① 情報収集・分析・提供

①-1：警察庁統計、人口動態統計、実態プロフィール等を基に、随時情報提供

② 市内関係機関の連絡調整

②-1：自殺対策庁内連絡会

第 1 回：令和 3 年 7 月（書面開催）

第 2 回：令和 3 年 9 月（書面開催）

第 3 回：令和 4 年 2 月（書面開催）

②-2：自殺対策連絡懇話会

医師、学識経験者等から専門的な意見を聴取するために開催。

第 1 回：令和 3 年 7 月（書面開催）

第 2 回：令和 3 年 8 月 27 日（金）

第 3 回：令和 3 年 10 月 4 日（月）

第 4 回：令和 4 年 2 月 17 日（木）

②-3：相談機関一覧（悩み相談）作成・配布 15,000 部（配架冊子）

③ 民間団体への支援

③-1：事例対応への相談等、随時対応 62 件

市内関係機関（庁内関係部署含む）から対応困難な事例等に関する相談について「支援者への支援」の視点を踏まえ対応。

④ 人材育成研修

④-1：支援者向け研修

新型コロナウイルス感染症拡大のおそれから、庁内外の相談窓口・相談機関職員に向けた「相談機関研修」及び、警察署、救急隊、救急告示病院等に向けた「未遂者ケア研修」の開催は見送っているが、本市自殺対策の重点施策の一つとして、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る「ゲートキーパー」研修（動画配信形式）について、市民のみならず、市内関係機関及び、救急告示病院等の支援者向けにも周知を図った。

○動画配信研修（9月1日～30日）

・動画視聴回数 115 回再生

・アンケート有効回答数 59（未回答含むと 74）

関係者 22 名（支援機関所属） 関係者以外 37 名

④-2：かかりつけ医うつ病対応力向上研修

新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から中止。

⑤ 市内関係機関における自殺未遂者及び自死遺族等支援に対する指導

⑤-1：自殺未遂者及び自死遺族等支援については、市が直接実施。

B:市町村としての役割

① 計画の策定

- ①-1：堺市自殺対策推進計画（第2次）進捗管理及び堺市自殺対策推進計画（第3次）の策定準備

② 対策事業の実施 ※こころの健康センター及び精神保健課のみ紹介

- ②-1：自殺未遂者への相談支援（いのちの相談支援事業）

警察署、救急隊、救急告示病院において自殺未遂者の取扱いがあった場合、本人もしくはその家族からの支援希望（同意）に基づき、専門職による直接支援を実施する。

令和3年度いのちの相談支援事業実績（12月末時点）			
新規相談件数	相談実人数	相談対応延べ件数	男女内訳（新規）
57件	229人	2506件	男21名 女36名

- ②-2：ゲートキーパー養成研修

本市自殺対策の重点施策の一つとして、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る「ゲートキーパー」研修を実施。

<市民、関係機関> ※再掲

動画配信研修実施（9月1日～30日）

・動画視聴回数 115回再生

・アンケート有効回答数 59（未回答含むと74）

関係者 22名（支援機関所属） 関係者以外 37名

<市内大学>

・9月15日 桃山学院教育大学（教職員向け）（web）参加者：20名

・11月10日 関西大学（学生向け）（対面参加型）参加者：155名

- ②-3：職域連携推進事業

自殺者が多いと言われている勤労者層に向けて、メンタルヘルスの知識を普及・啓発し、相談・受診につなげるきっかけとすることを目的に、市内事業所の経営者や労務担当者等を対象とした研修を実施。

<メンタルヘルス対策セミナー>

日時：令和3年8月5日（木） 講師：松村ストレスクリニック 院長 松村 一矢 氏

受講者：35名（会場受講者7人、オンライン受講者28人）

- ②-4：普及啓発

<自殺予防週間（9/10～16）、自殺対策強化月間（3月）の啓発活動>

・各区役所にて懸垂幕の掲揚、市役所にてパネル展示、デジタルサイネージの実施

・ホームページへの掲載及び堺市公式 SNS への投稿

<相談機関一覧（悩み相談）作成・配布 15,000部> ※再掲

- ②-5：その他

<大阪府、大阪市との共同事業>

・24時間集中電話（9月、3月）の実施

・新型コロナこころのフリーダイヤルの実施（R2年10月～）